

視覚・聴覚障害者のICT利活用人財育成について



平成29年12月11日（月）
青森県企画政策部情報システム課

1 取組の背景

【東日本大震災（H23.3.11）】

- ・ ソーシャルメディア等インターネットを活用して安否確認が行われるなど、情報通信技術（ICT）に基づく情報伝達手段が広範囲に活用される。
 - ・ 一方、緊急時における情報の途絶や錯綜による不安感の増大、混乱から迅速・確実な情報伝達手段の確保の必要性、もしもの時の備えが課題に。
- ⇒ 産学官で構成する『**緊急時「情報力」強化検討会議**』設置(H24.7月)
「緊急時情報力強化推進方針」の策定（H25.6月）
※情報力…「情報リテラシー」＋「メディアリテラシー」

1 取組の背景

【情報力強化のための「5つの基本的な考え方」】

1 情報を確実に受け取る

もしもの時、どこかと、誰かとつながっていることが助けとなります。
日頃から、情報をいつでも確実に得られるような備えを考えておきましょう。

2 情報をよく読み取る

もしもの時、間違いなく情報を読み取ることが大切です。
日頃から、信頼できる情報、最新の情報が入手できるような備えを
考えておきましょう。

3 情報をうまく使う

もしもの時の的確な判断と行動は、あなたの情報が支えます。
日頃から、情報をどう活かすか、情報にそってどう行動するか、考えておきましょう。

4 自ら情報を発信する

もしもの時は、あなたも情報の発信者の一人となります。
日頃から、情報を適切に発信できるような行動を身に付けましょう。

5 情報でみんなを支える

もしもの時、あなたの情報で人を救ったり、周りの人を助けることができます。
日頃から、情報をどう使えばみんなのために役立てられるか考えてみましょう。

情報力強化のためには、情報弱者(障害者、高齢者、外国人、観光客等の一時滞在者、良好な情報環境にない人)にも配慮が必要

1 取組の背景

【緊急時のための視覚・聴覚障害者のICT利活用調査結果（H25.3月）】

- ・ 視覚・聴覚障害における情報格差軽減に貢献する可能性のあるデバイスとして「iPad」が有用。
 - ・ しかしながら、健常者向けと違い障害者向けにiPadの利活用を伝える講習会については、講習する側が障害者向けの機能・使い方を把握していない、各障害に応じた講習の仕方がわからない等の理由により取組事例が少ない。
- ⇒ 上記課題解決のためには、iPadの障害者向け機能と各障害に応じた講習方法の体系化、講師役を行える人材の育成、外部サポート（会場、ボランティア等の確保）、各障害者向けiPadの利活用方法についての周知拡大 が必要

2 青森県の取組

【視覚・聴覚障害者のためのICT利活用サポーター育成事業（H25～H26年度）】

→ 視覚・聴覚障害者にiPadの操作方法を教える人財（サポーター）育成講座、事業者向け講習会の開催

【視覚・聴覚障害者のためのICT利活用サポーター強化事業（H27～H28年度）】

→ サポーター育成講座に加え、ステップアップ講座（サポーターのスキルアップ・実践、障害者等との交流会を実施）、視覚・聴覚障害者のICT利活用推進フォーラム、目の見えない方・見えにくい方のためのICT利活用展を開催

【障害者・高齢者のためのICT利活用サポーター強化事業（H29～H30年度）】

→ 視覚・聴覚障害者に加え、高齢者を対象としたサポーター育成講座を開催

2 青森県の取組

【講師】

高森 三樹（たかもり みき） 氏



… N P O法人あおもり I T活用サポートセンター理事、
エイチピースタイリング代表。

自治体・企業・団体など様々な業種のWebサイト企画制作・コンサルティングに関わるほかWebや仕事をテーマにした講演・講習等でも活躍。県内外の視覚・聴覚障害者向けのiPad講習会で多数の講師を務めている。

2 青森県の取組

【サポーター育成講座、ステップアップ講座の開催実績】

平成25年度

【サポーター育成講座】

- 健常者向け
青森市(6人/7回)
青森市(8人/7回)
- 障害者向け
青森市(7人/5回)

平成26年度

【サポーター育成講座】

- 健常者向け
青森市(8人/9回)
八戸市(7人/9回)
五所川原市(9人/9回)
- 障害者向け
青森市(7人/5回)

平成27年度

【サポーター育成講座】

- 健常者向け
青森市(7人/9回)
弘前市(10人/9回)
- 障害者向け
黒石市(6人/5回)

平成28年度

【サポーター育成講座】

- 健常者向け
弘前市(8人/9回)
八戸市(6人/9回)
- 障害者向け
青森市(5人/5回)

平成29年度

【サポーター育成講座】

- 健常者向け
青森市(実施中/9回)
十和田市(7人/9回)
- 障害者向け
三沢市(6人/5回)
- 高齢者向け
青森市(予定/5回)
八戸市(9人/5回)

※サポーター育成講座修了者は、
平成25年度～平成28年度までで
94名

※平成29年度からは、高齢者
向けのサポーター育成講座も実施

【ステップアップ講座】

- 健常者向け
青森市(8人/5回)
八戸市(3人/5回)
五所川原市(4人/5回)
- 障害者向け
青森市(5人/1回)

【ステップアップ講座】

- 健常者向け
青森市(計35人/6回)
弘前市(計21人/4回)
- 障害者向け
黒石市(6人/1回)

【ステップアップ講座】

- 青森市(予定/2回)
弘前市(予定/2回)
八戸市(計18人/2回)
黒石市(13人/2回)
五所川原市(予定/2回)

2 青森県の取組

サポーター育成講座（1）



- 座学+実習形式（1講座あたり5～9回）
- 社会人や大学生の参加が中心のため、仕事が終わる18時以降に開催
- 座学では、iPadの障害者向け機能（コミュニケーションアプリ等）、障害者の日常生活の特徴（どのように接してほしいか）等について講義
- 講座終了時には、修了証を交付
- 地元の手話通訳者や大学生が運営をサポート

2 青森県の取組

サポーター育成講座（2）



- ・ 実習前には、グループ毎にiPadの操作方法、アプリ機能の説明方法について検討
- ・ 実習本番は、モデルとなる各障害者（初対面）に対して、受講者のみで対応

2 青森県の取組

ステップアップ講座



- ・ 過去に受講したサポーターのスキルアップ・実践の場の提供
- ・ iPad操作方法等を習得したい障害者等との交流会開催

2 青森県の取組

フォーラム等



視覚・聴覚障害者のICT利活用推進フォーラム（H27）



目が見えない方・見えにくい方のための ICT利活用展（H28）

2 青森県の取組

リーフレット・動画制作

**目の不自由な方・耳の不自由な方の
タブレット端末活用
のすすめ**

タブレット端末の操作をサポートする様々なアプリを使って、生活を便利に、豊かに！

発行：青森県立総合情報システム課
〒980-8570 青森県青森市7番1-1
TEL:017-847411 FAX:017-8474100
Eメール: aomori@prefnet.adn.ac.jp

タブレット端末の便利機能!

- 音声読み上げ機能**
目で読んだところを読み上げてくれるので、目盲の状態や作業上で焦っている部分があれば音声で確認することができます。
- 拡大機能**
画面上の文字や画像が小さくて見えにくいときに、拡大して見やすくすることができます。
- 色反転機能**
画面の背景が暗くて文字などが見えにくいときに、背景や文字の色を反転させることで見やすくすることができます。
- 音声認識機能**
音声で入力してリアルタイムで画面に文字を表示してくれます。目の不自由な人が手紙が打てない場面やSNSコミュニケーションをするのに便利です。
- 字幕機能**
インターネット上に配信されている動画に、字幕を表示させることができます。1語単位から1分単位まで指定することが可能です。

※画面は、実際の操作性を再現したイメージです。詳細については、お問い合わせください。

使えるアプリ!

- カメラを使ったアプリ**
カメラを拡大鏡として使ったり、撮影したものが何分かを覚えてくれるアプリなどがあります。
- 音声の案内**
カメラで撮影したお札の額面を覚えてくれるアプリなどがあります。
- 手話アプリ**
手話の読み取りアプリやゲーム感覚で手話を覚えられるアプリなどがあります。
- 手話アプリ**
手話の読み取りアプリやゲーム感覚で手話を覚えられるアプリなどがあります。

※画面は、実際の操作性を再現したイメージです。詳細については、お問い合わせください。

リーフレット「目の不自由な方、耳の不自由な方のタブレット端末活用のすすめ」
(H28. 3月)

2 青森県の取組

リーフレット・動画制作



動画「使ってみよう！タブレット端末活用のポイント」（視覚障害者編）
(H28. 3月)



動画「使ってみよう！タブレット端末活用のポイント」（聴覚障害者編）
(H28. 3月)

2 青森県の取組

表彰

【「モバイルプロジェクト・アワード2014」】

⇒ 本県の「視覚・聴覚障害のある方に
iPadを教える人財育成事業」の取組が

『MCF社会貢献賞』を受賞！！（H26.7月）



<MCF社会貢献賞>

- ・モバイルを利用して、教育、地域活動支援、スポーツ、文化等で社会に貢献しているプロジェクトに授与。地方自治体の受賞は、平成24年（2012）受賞の佐賀県に続き2例目。

※MCF：一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム

3 成果と課題

【成果】

- ① アクセシビリティ機能や障害者のICT利活用への関心が増えた。
- ② 障害者とのコミュニケーションがとりやすくなった。
- ③ 講座をとおして、タブレット端末を利用する人が増えた。

【課題】

- ① 講座で使用する機器（iPad）の老朽化
- ② 講座実習時のモデル確保
- ③ 広報機会の拡大
- ④ 講座受講者の継続的なフォロー

ご清聴ありがとうございました。

- 青森県情報システム課のページ

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kikaku/system/>

青森県情報システム課



りんこちゃん

青森県 I C T 利活用推進キャラクター



アオモリン